

同志社大学

2015年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016年 2月 16日提出

所 属	職 名	氏 名
政策学部	教授	オフエル・フェルドマン
研 究 題 目	Toughness and Impartiality in Televised Political Interviews in Japan	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究は、日本の政治過程におけるテレビのインタビュー番組の性質と在り方やインタビューされる政治家のコミュニケーションの型に焦点を当てる。特に政治関連のインタビューにおける質問はどういった特色を持っているか、日本の政策立案者などがどのように幅広い質問に答えているのか、インタビューされる政治家とインタビュアーとの間にどのような相互作用が発生するか、またどういった影響を与えるかなどを検証し、既存の欧米諸国のデータと比較し、日本の政治文化における重要なコミュニケーションの側面を明確にすることを目的とする。そのため、2012年5月から2013年6月にかけて3つのテレビのインタビュー番組を毎週始めから終わりまでDVD録画を行い、そして録画したもののテープ起こしを行う、分析した。</p> <p>以上の結果は第3回イスラエル日本学会「Failures in Leadership: How and why Politicians Equivocate on Japanese Televised Political Interviews?」(5月13日)、国際政治心理学会 2015年次総会「Making Sense of Politics in Japan: The Role of Televised Political Interviews」(7月5日)、及び2015 ANPOR アジアネットワークにおける世論研究会「Only Asking Questions: Framing the Context and the Content of Televised Political Interviews in Japan」(11月26日)で発表を行い、方法論やデータ分析の過程についていろいろなフィードバックを得ることができた。さらに今回の研究に基づいて「Televised Democracy? How Politicians Handle Questions during Broadcast Talk Shows. In S. Ben-Rafael Galanti, N. Otmazgin, & A. Levkowitz (Eds.), <i>Japan's Multilayered Democracy</i>, Lexington, Lanham, MD, 2015, pp. 175-196」, および「Politische Rhetorik [Political Rhetoric]. In Zmerli, S. & Feldman, O. (Eds.) <i>Politische Psychologie: Handbuch für Studium und Wissenschaft</i>, Nomos Verlagsgesellschaft, Germany:Baden-Baden. に発表できました。</p> <p>今後は、自分の日本における政治的コミュニケーション研究の一環として、さらにこの研究を続行していく予定である。</p>	